広報あいかわ

発行所
秋田県北秋田郡
合川町役場
合川町公民館
（役場総務課 T 4
公民館 T 62）

金田助役を再選

臨時議会　教委に佐藤、西村両氏

町議会臨時会が九月二十九日午前十時から役場会議室に二十三議員出席（欠席三）して開かれた。

この臨時会には、任期満了にともなう合川町助役一名教育委員会委員二名を選任することについて町議会の同意を求める二議案が提出され、助役には現助役の金田英和氏、教育委員会委員には現委員長の佐藤一郎氏および現委員の西村哲郎氏の両委員をそれぞれ満場一致をもつて再選することに同意することを可決し、本会議を閉じ、引き続き町当局から三里橋永久橋架替が有望になつてきたこと、落合橋（李岱～羽根山間）の架替はなかなか困難であるが実現するため引き続き関係機関に強力に陳情する。赤い羽根共同募金配分金によつて建築される救護施設（精神薄弱者収容施設）を本町に誘置する運動を行つていること。町有林の手入れが当初予算よりかかり増になつているが計画どおり実施したい等の町政の報告があり、同日正午散会した。

なお、教育委員会の委員は九月三十日、助役は十月二十四日がそれぞれ任期となつていたものである。

委員長に藤島氏

町教育委員会

町教育委員会では去る五日午前十時から役場会議室で会議を開き、任期満了の委員長に新たに藤島栄治委員（四九＝木戸石、商業）を満場一致で互選した。

また委員長職務代理者には西村哲郎委員が選任された。

九月十五日現在

基本選挙人名簿調製

選挙の基本となる「基本所をもつ日本国民で欠格条選挙人名簿」は毎年九月十五日現在で十月三十一日までに調整することになつており、町選挙管理委員会ではその作業を進めている。

この名簿に登録されているのは九月十五日現在で引続き三ヵ月以上合川町内に住んでいる年令の要件としては、ことしの十二月二十日に満二十歳以上のもの（昭和十五年十二月二十一日までに生れたもの）である。

こうして十月三十一日までに基本選挙人名簿が調整されると、登録もれや誤載がないかどうかを確認するため、十一月五日から十九日までの十五日間合川町役場で一般の縦覧に供し、そこでもし登録もれや誤りがあるのを発見したら縦覧期間内に文書で選挙管理委員会に修正を求めることができます。

この名簿は十二月二十日をもつて確定され、その後一年間に行われる選挙に使われることになります。

ことしは衆議院議員の総選挙が十一月下旬行われることが確定的でありますが、この場合は現在の基本選挙人名簿（昭和三十四年十二月二十日確定）と三月二十六日行われた町議会議員一般選挙に調整された補充選挙人名簿（昭和三十五年三月二十日確定）を使用することになり、このどちらにも登載されていないが有権資格者は新しく調整される補充選挙人名簿によつて投票することになります。

保険税第三期納期限の訂正

さきほど皆様方の各家庭に配付された（まだ配付されていない地区もある）国民健康保険税徴収令書（第三期分）の納期限が昭和三十五年十月三十一日限りとあるのを昭和三十五年十一月三十日限りと訂正しますからその日まで納付されるようお願いします。

みんなの幸福を守る
〝赤い羽根〟
にご協力を
合川町共同募金会

山形市蔵王農業協同組合の養豚事業を視て

経済課　木村仁兵衛

去る八月二十六日と二十七日の二日にわたつて見てきた蔵王地区の養豚事業を招介し、当町で今年から実施している豚予託事業や、これから共同化の方向へ進みたいと考えている農家の方々の参考となれば幸いである。

二ツ井朝五時五十九分発福島行に乗つたわれわれは正午に少し前山形市に到着早速昼食をすませバスに乗つた。

国道添いにおよそ八キロ、蔵王登山道路の入口で下車し、農協をたずねた。

七日の二日にわたつて見てきた蔵王地区の養豚事業を招介し、当町で今年から実施している豚予託事業や、これから共同化の方向へ進みたいと考えている農家の方々の参考となれば幸いである。

二ツ井朝五時五十九分発福島行に乗つたわれわれは正午に少し前山形市に到着早速昼食をすませバスに乗つた。

国道添いにおよそ八キロ、蔵王登山道路の入口で下車し、農協をたずねた。

購売事業が盛んとみえ色々な商品が沢山陳列されていた。

養豚事業を視察に参つたことを伝え、会議室で一ぷくする。

二階の窓からながめると、山の傾斜地を利用して作つているブドーの棚がきれいだ、その下方の山すそにくるに従いホップの栽培（ビールのニガ味等に必要な原料）が見えそれが農家の庭先の空地いたるところまで栽培されている。

もちろんホップばかりでなくリンゴも土蔵のすみや一寸した空地を利用して栽培している。多角経営だな、と云うことがすぐ理解できる。

最初飼育している状況を見それから話を聞こうと云うことになり案内してもらう五十メートルと行かないうちに豚特有のにおいがプーンと鼻をつく、ここだなと思つていたらそこに案内してくれた。

ま新しい豚舎で入つたとたんビックリしたのは、殆んどが黒や茶色の豚ばかりで豚房の前には今日の給餌の量や種類が書かれた黒板がぶらさがり、さらに行儀よくどの豚舎にもデー系三交血等を記した板がぶらさがつているここは蔵王地区の共同飼育で一番乗りを上げた三十代の会員十四名で組織し現在七十八頭を飼育しているとのこと。

〝共同化へふみきつた動機〟

ここで彼らがどのようなことから共同飼育を行うようになつたかを招介しようちようど農村で云えば中堅層に当る彼ら十四名は、当初蔵王地区の農事研究会を結成した。そして最初は農業技術の問題が集まるたびに話し合われ、着々と実績をあげていつた。

ところが集会が重なるにつれていつも同じことばかりで会員の中にもぼつぼつあきたような状態が続いた。

農事研究会はこれではいけない、何とか打開策はないものか、いろいろ論議がかわされ、結果落着いた問題は、豚を共同で飼育しようではないかと云うことになつた。

それは今後貿易の自由化で米の価格が下落するし、反面肉や卵の需要は年々増えることはつきりしてきたこの米依存の困難を乗り切るためには畜産でなければいけないと云うことだつた彼らはこのように現在の農家経済から将来への経済の見透しを立て豚の共同飼育を行うことを決定したのである。

〝共同飼育をして見て〟

最初会員一人当り一五千円出資することを申し合せた。

ところが実際豚舎を建て、仔豚を購入することになつたが資金が足りない。

そこで又追加出資一五千円をし、約三〇〇千円で豚舎を作つたと云う。

今新しい豚舎には（昨年の秋実施）一房に五頭づつ、七十八頭の豚が飼育されている。そしてもつと増やしたいと云つていた。

飼料代が又大変でしようとたずねると、購入飼料は殆んど農協を通じており、又この豚は草を大変好むので会員が順番に毎日草だけを提供すると云う。

飼育管理は、会員順番制も考えたが、豚のクセや飼料等を考え合せ、また今まで共同飼育で失敗した例からしても一人専門にした方が能率的で効果があると云うことだつた。

一日三回飼付、二回掃除で一人が片手間にやつてのけると云う、そして飼育管理者には月給制にし月七千円～八千円を出しているそうだ。

豚舎の敷地は年一〇千円の契約で借り受けていると云うことだつた。

仔豚は現在会員がそれぞれデー系三交血の繁殖豚を飼養しておりそれから出産したものをグループで一頭四千百円に買取りしていると云う。

普通のヨークシャー（白豚）に比してこの赤豚は粗飼料に耐えうるし、現在は肉相場がよいとしても将来不安定な相場になつても引き合うからその方向に進んでいることは事実である。

（以下次号につづく）

町職員異動

町民課　松橋英司
財政課　長浜礼子
総務課　疋田玲子

用務員を命ずる　畠山三一
総務課勤務を命ずる（以上町辞令十月一日付）
看護婦見習　沢藤秀
願により本職を免ずる（町辞令九月三十日付）
三浦明子
用務員を命ずる
合川中学校（南校舎）勤務を命ずる（教委辞令十月一日付）
用務員　斉藤吉男
願により本職を免ずる（教委辞令九月三十日付）

町立合川病院勤務を命ずる　高橋正蔵
合川町技術吏員を命ずる　浪岡和子
看護婦を命ずる

メモ　町政

9月17日　敬老会
18日　根田保育園運動会
20日　教育委員会
24日　国勢調査の準備調査はじまる
27日　国勢調査員打合せ会
29日　臨時町議会
10月1日　農業委員会、国勢調査本調査

昭和35年合川町高令者番付表

（満80歳以上，順位は生年月日による）

東方（東地区，北地区）

横綱	成田サダ	九〇	下杉哲郎
大関	藤島ハツ	八〇	木戸石為吉
関脇	畠山キヨ	七〇	道城留五郎
小結	工藤サト	六〇	上杉忠太郎
前頭	高橋ヒサ	五〇	八幡岱勘四郎
同	畠山宇市	五〇	木戸石宇三郎
同	小笠原エシ	五〇	増沢勝郎
同	吉田サダ	四〇	川井敬一郎
同	工藤セン	四〇	上杉健治
同	関堅治	三〇	川井吉田兵蔵方
同	米倉ヨシ	三〇	上杉保治
同	木村ミエ	三〇	下杉印吉
同	高橋ハナ	二〇	木戸石政之助
同	小野ナヨ	二〇	道城権蔵
同	庄司キツ	二〇	川井国治
同	佐藤イツ	二〇	駅前本人
同	工藤和三郎	二〇	上杉本人
同	疋田豊三郎	二〇	木戸石源治
同	中村ミネ	二〇	上杉正夫
同	二階堂ミチ	二〇	杉印儀七
同	桜井与助	二〇	下杉定吉
同	杉淵時五郎	二〇	増沢新田目

西方（西地区，南地区）

横綱	庄司長吉	九〇	李岱東吉
大関	加藤ハル	九〇	鎌沢正三
関脇	金森スエ	九〇	西根田辰三
小結	平川サン	九〇	李岱利助
前頭	福田与七	七〇	鎌沢織之助
同	松橋ユラ	七〇	摩当幸三
同	加藤ナツ	七〇	鎌沢政治郎
同	土濃塚ノリ	六〇	芹沢吉治
同	木村ツネ	五〇	李岱運助
同	松岡サト	五〇	羽根山峰蔵
同	松橋与吉	五〇	三里由蔵
同	岸田清助	四〇	鎌沢孝一
同	金森子之松	四〇	西根田富美夫
同	福岡与四郎	三〇	三里健治郎
同	成田マ子	三〇	李岱直治
同	福岡ハル	三〇	三里金助
同	加賀谷タキ	三〇	西根田トキ
同	梅田フミ	三〇	羽根山長助
同	加藤スエ	三〇	東根田清祖
同	三浦ツル	八〇	三木田小八
同	金田チネ	八〇	羽根山喜代治
同	田中カン	八〇	鎌沢金蔵
同	伊藤長治郎	八〇	雪田福司
同	杉淵ミヨ	八〇	杉山田重蔵
同	松橋シキ	八〇	三里由蔵
同	鈴木ミヨ	八〇	福田要一
同	松岡甚之助	八〇	羽根山菊太郎
同	土濃塚鉄蔵	八〇	芹沢正夫
同	成田ヒサ	八〇	李岱一二
同	安部サタ	八〇	新田目運吉
同	藤岡ノエ	八〇	羽立福治
同	斉藤コマ	八〇	新田目憲一郎

免御蒙
行事　合川町役場
取締　合川町敬老会
勧進元　広報あいかわ

町将來のために!!

……町有林の手入れ進む……

町では、将来の町財政の基盤をつくるために、町有林、学校部分林や町部分林の育成につとめている。

この作業は昨年町の基本財産造成計画委員会が決めた基本財産造成計画にもとずき、蓄積金によつて毎年計画的に行なうことになつており、ことしの事業計画は次のとおりであり、作業が進められているも、長年不完全な手入れであつたので今年は思い切つて徹底的に手入れをして育成を助成することになつている。

▽町有林

個所	植林反	下刈反
金沢	三〇	—
大内沢谷地	二四	三〇
芦沢	—	二六六
芦沢	—	一七
羽根山(西小)	—	一六
羽根山(西中)	三〇	八
芦沢(北小中)	—	三八
下大内沢(南中)	—	六六
孫七沢(南小)	—	一六

▽町部分林

▽学校部分林

▽官行造林

奥増沢	四六	—
深沢	一九九	—
孫七沢	九三	—
雪田沢	一四三	—

納税強調旬間

17日～26日まで

町財政課では北秋田財務事務所の協力により十七日から二十六日まで納税強調旬間を設け町税の収納をたかめることになりました。まだ納税していない方はぜひ納めて下さるようご協力願います。

消防団が防火査察

毎戸を火の元診断

秋もいよいよ深まり、火例の施行にともなつて「合気を多く使用する季節がやつてきました。川町から火災をなくする」積極的な防火運動を起すことになり秋の防火週間行事の消防団では火災予防条として各家庭を巡回し、防火診断を行うことになつたこれは消防団員が各班に分かれて各家庭のストーブ、かまど等の火気設備の位置や構造について点検して設備の改善すべき点を指摘説明して一般の火災予防に対するすき間や油断を啓発しようとするものです。

このため近く消防団幹部会を開いて実施の日時や要領などを協議することになつていますが、その査察の主眼はおおむね次のとおりですが一般町民の理解とご協力が要望されている。

さて皆さんの家庭ではどうなつているでしょうか？もう一度確めてみましようかまど＝台、たきがら受けの設備が充分であるか、周囲の可然物（もえるもの）から充分の巨離があるか。

ストーブ＝煙突が建物の窓から充分の巨離をもつているか、継目の不完全なものがないか、また穴があいていないか。

電気設備＝配線に漏電の危険がないか。

火気使用場＝周囲が整理整頓されているか。

家屋調査に正しい理解

固定資産の評価について町民の中にいささか曲解されている点があるように感じられますので簡単に説明することにいたします。

固定資産税に関係のある資産については地方税法の定めるところによつて昭和三十一年度から三年を経過するごとの年度に自治省から示された土地、家屋の評価基準表によつて価格の評価替作業を実施することになつています。

基準表は明細に分類された全国的に統一された内容のもので、問題になりますのは評価替ということであると思います。

「時」の経過によつてその容体に変化のともなうことは事実であるわけであります。

家屋の例でありますと「茅ぶき」の屋根で十年も葺替をしていないような場合は損耗の度合がけんちよであるため経過年数等によつてその価格を適正に引下げるよう修正しなければなりませんし、家屋全体についても損耗指数等の計算作業がなされるのであります。

また増改築等によつて家屋台帳に登記されている事項と相違しているときは新たに価格の決定がなされるのは当然であります。

昭和三十六年度は固定資産評価基準年度に当り、九月一日から十月二十日まで町内の家屋調査を実施することとは八月三十日発行の広報あいかわに記載のとおりであります。

したがつて町の財政課職員が各家屋の実態調査に出向いておりますが、このことによつて皆さんの税金が高くなることではなく、均衡のとれた公平な税負担が実現されていくためのものであることを改めて御了解ねがいたいと思います。

米作りの総仕上げ

―乾そうを十分に―

ことしは六年続きの豊作史上最大の豊作ともいわれ農家にとつては忙しいなかにもうれしい刈取り作業が進められている。

町内各農家の刈取り作業はもう七、八分（五日現在）と進んでいるが、これから乾そう、脱穀調整、売り渡し作業と続きますが米の仕上げは乾そうが最も大切だと云われている。

乾そうの悪い米は目方が減り、長く貯蔵できないばかりでなく、等級が悪くひどいものは水分過多規格外米となり非常に損をします。

米の仕上げと出荷に十分注意して上位等級米で収入を多くしましよう。

◇乾そうは十分に

秋田の米は乾そう不良が最大の欠点であるのでこの改善を重点に次のことを必ず実行しましよう。

○ハサ掛はうす掛しよく乾そうしよう。

○棒掛（ホンニョウ）は四十把掛とし必ず掛替しをしよう。

○ハサ掛、棒掛で不充分な籾は更にムシロ、ビニール、機械乾燥等によりむらなく上手に仕上げようしないよう注意し、籾ブリは玄米に籾や小石が入らぬようロールの回転と万石の調節をよくしよう。

○もち米と陸稲は乾燥しにくいので、脱穀後さらにビニールや機械乾燥を必ず行ないましよう。

○籾づり前に必ずケット（水分検定器）で農協から水分の下見をしてもらいましよう。

○長期保管の関係から今年の検査は乾燥について厳正に実施されます。

検査規格による含水量は

一等米＝一五・〇％以内
二等米＝一五・五％以内
三～五等米＝一六・〇％以内

◇脱穀調製は念入りに

作業場はよく清掃し、作業には土足を止め、脱穀が終つたときの掃きよせ籾はよい籾と区別し、小石が混入もち米の調製はうる米が混入しないよう機械の掃除をていねいに、また酒米は特に胴割に注意し三回以上の縦線励行と唐箕選を実行しよう。

◇包装はしつかり

正味重量は確実に

ヒゲのおり曲りは完全に、目抜なわは引上げて、さん俵はきつちりと、掛なわはよいなわできりりと仕上げよう。

ハカリは検定済の正しいものを使い、荷造りや運搬中のこぼれなどを考え、不足しないように入れましよう

求人案内

◇山本食糧工業KK（静岡県蒲原町）
作業内容＝蜜柑罐詰製造
人員＝男一名　女二十名
期間＝十一月下旬より二月末まで
資格＝満十六才から三十才までの未婚者
賃金＝男二五〇円以上
女二四〇円以上
時間＝実働八時間

◇セントラル自動車KK（神奈川県相模原市橋本）
職種＝板金、塗装、ギ装
人員＝五十名
資格＝十八才から二十才まで学歴は問わず、当社に永年勤続の熱意ある者
賃金＝三二〇円以上
当初臨時工、勤務成績優秀な者は正従業員とする
その他＝宿舎あり

●詳しいことは役場職業係（電話二四番）へ問合せ下さい。

楽しかつた一日

敬老会おわる

○…国民のすべてがとしよりを尊敬し、楽しい老後を送つてもらうよう九月十五日から二十一日まで全国的に「としよりの福祉週間」がくりひろげられた。

○…町では去る十七日午後一時から合川中学校西校舎に七十五歳以上のおとしよりに集つてもらい敬老の会を開いた。

○…この日九十余名のおとしより達が町さしむけのハイヤーで続々つめかけ、町や県から暖かい心のこもつた沢山の記念品をおくられ町の心ずくしのごちそうに舌づつみをうち、杯をかたむけながら、地元（李岱）有志の獅子踊で、また自分たちもと、年を忘れて歌い踊つて楽しい一日を過した。

（写真は記念品を贈られるとしよりたち）

広報スポット

○前回の国勢調査のとき（昭和三十年）日本の人口はいくらでしたか。

答　八千九百二十八万人でした。

○世界の総人口をご存じですか。

答　二十八億五千二百万人です。

○日本の人口は世界で何番目ですか。

答　中国、インド、ソ連アメリカに次いで五番目です。

○日本の人口は　一年間にどのくらいふえていますか。

答　昨年一年間に出生は百六十万、死亡は七十万で、九十万人増加しています。一日に換算しますと四千四百人生まれ、千九百人死亡して、毎日二千五百人増加していることになります。（厚生省資料）

○日本に八十才以上の高令者は何人いますか。

答　五十一万人です。（三十年国勢調査）

○高令者は、男と女のどちらが多いでしようか。

答　八十才以上の人のうち、男十七万人、女は三十四万人で、女が男のちようど二倍です。（三十年国勢調査）

○日本婦人の平均の子供の数は何人ですか。

答　結婚した女子一人当り三・六人です。（二十五年国勢調査）

慶弔だより

（自九月一日　至九月三十日）

出生（十六人）

松橋昭子、道城、留五郎孫
松橋正博、道城、鉄治、孫
和田幸人、上杉、徳治、孫
疋田光昭、上杉、仁助、孫
木村正、下杉、春吉、二男
桜井幸人、下杉、良蔵二男
平川郁美、駅前、純蔵三女
高橋浩、駅前、久男、長男
佐藤美智子川井武之助長女
吉田逸、川井、己之助孫
桜庭誠、川井、酉蔵、孫
木村剛志、李岱、吉蔵長男
梅田克晃、羽立、福蔵、孫
山岡幸子、雪田、豊吉、孫
安藤千秋、三木田、仁吉孫
桜田広子、東根田修一長女

死亡（五人）

疋田久一郎、上杉、本人
沢藤三太、木戸石、本人
成田マツエ、李岱、徳蔵母
松岡サト、羽根山、峰蔵母
桜庭誠、川井、酉蔵、孫

あとがき

▽ことしは史上最大といわれる豊作、すばらしい黄金の波も次から次へとハサ、ホンニョウへあげられていく。

どつしりと実つた稲穂を手にして農家の表情は実に明るい。

▽売渡し作業がこれから本格化するが、十分に乾燥してよい等級で収入をふやすよう。

ことしの検査は乾燥が重点だとのこと。

▽十月一日現在で国勢調査が行われ、わが町でも皆さんが提出した調査票の整理作業でテンヤ、ワンヤ、さて町の人口は増えるだろうか？

▽十一月二十日頃？には衆議院の総選挙が予定されいやもう中盤戦だとの声もあり、今年の秋は例年にないにぎやかな年になりそうだ。

（広報係松橋記）

国を家庭を明るく築く郵便貯金増強運動実施

郵政省では各官庁、各種団体の協賛のもとに目下「国を家庭を明るく築く郵便貯金増強運動」を施中です。皆さまからおあずかりした郵便貯金は一兆円という大きな金額になつておりますが、このお金は大蔵省の資金運用部をとおして県や市町村公庫、公団等に貸し出され、学校、病院、道路住宅の建設、農作業の機械化さらには災害復興の等皆さんの町や村を住みよくするために、役立つています。

「備えあれば憂いなし」といわれます。皆さんのチョットした工夫が家庭だけでなく国も町も住みよくする、郵便貯金をおすゝめします。

合川町内各郵便局